

10月から紙面が変わります

鹿児島建設新聞

本紙は10月2日から、紙面をリニューアルします。
これまで、入札速報でご愛顧いただいております最終12面を刷新。インタビューや潮流、民間ニュースなど、曜日ごとにテーマを設定し、記事の定着化を図ります。

最終面の記事化に伴い、従来の入札情報は11面までの掲載となります。増加する一般競争入札の公告情報等にも配慮し、より見やすい紙面構成に取り組んでまいります。

●インタビュー

火曜日

異業種進出や元気印の企業、関連団体、有識者など、幅広い視点から取り上げる

●民間工事ニュース

水曜日

民間の工事計画を掲載する。宅地造成や開発行為、競売情報等からの掘り起こしも

●潮流

木曜日

行政動向や業界の先進的取り組み、課題等をピックアップし、今後の方向性等を分析する

●民間・経済動向

金曜日

まちづくりや不動産、リフォーム、経済動向など、ハード・ソフト問わず幅広い情報を提供

●中央動向

土曜日

「今、中央ではこんな動きが…」地方に届きにくい業界動向をいち早くキャッチ

このほか、週単位で県内の動向を振り返る「Weekly・Flash (ウィークリー・フラッシュ)」(火曜日)、九州各県の業界情報を提供する「九州Express (エクスプレス)」(金曜日)、月1回のコーナーでは「資格・研修情報」も月末に掲載する予定です。

谷山地区連続立体交差事業

年内にも事業認可

鹿児島市は、谷山駅周辺地区土地区画整理事業と谷山地区連続立体交差事業を推進、順調に計画が進めば、年内までにそれぞれ事業計画決定および事業認可したい意向だ。これは、このほど開かれた鹿児島市議会第3回定例会の建設委員会において当局が明らかにしたもので、10月には一定の説明ができるとしている。

鹿児島市

谷山駅周辺事業計画決定も年内

両事業については、18年7月7日に都市計画決定しており、その後、谷山駅周辺地区土地区画整理事業は事業推進に係る施設管理者等との協議を行い、19年8月に県との協議を

下協議、9月に国土交通省との事前協議を行ってきた。一方、谷山地区連続立体交差事業は、詳細設計事前相談・関係機関協議資料作成後に、国土の詳細設計・事前相談、JR九州との連立細目要綱4条協議、県との事業認可下協議を実施してきた。今後は、谷山駅周辺地区土地区画整理事業と谷山地区連続立体交差事業の両事業の共同事業として、谷山地区連続立体交差事業の事業認可を目指す。

徳之島空港滑走路改良

損傷が著しい南側から着手

大島支庁徳之島事務所

滑走路(2000m×45m)改良を計画している。19年度は、損傷が著しい南側の滑走路から改良を進め、20年度の完了を予定している。同空港は、海上埋立空港で日射、紫外線および通年の高温、潮風など厳しい気象条件にさらされ、平成2年度に滑走路改良を実施し17年が経過している。これまで部分的な補修を行ってきたが滑走路全面にわたる劣化(わだち状のクラックや水の染みだし等)が見られ、補修箇所が増加しているため全面的な改良に着手する。19年度末進捗(面積)で60%を目標とする。

区土地区画整理事業が、10月頃に事業計画案の地元説明会、公告・縦覧やその意見提出の有無に約1カ月間、県都市計画審議会への付議、「設計の概要」についての知事認可を経て、年内までには事業計画決定を目指す。

谷山地区連続立体交差事業は、事業認可本申請などの手続きを進めて、こちらも年内までには事業認可を得たい見込みだ。

完成企画特集 8・9面に掲載

【高齢者福祉センター吉野 北部保健センター】吉野地域を中心とした北部地域の保健・福祉サービスの向上を図るため、複合施設・高齢者福祉センター吉野・北部保健センターが10月1日にオープンする。本紙では、完成企画特集として、施設の概要等を紹介する。30日には完成記念式典が行われる。

けんぴつ

先日、姫路市内に住む婿っ子の結婚式に出席するため、久しぶりの高速道路を利用した。片道10時間を要する長旅にさしかかろうとしたが、初秋の播州を満喫した一日だった。式の日、市内観光と酒落込んで16年ぶりに姫路城を散策した。空に向かって建つ天守閣と白く美しい白壁が、天を舞う白サギのように見える。ことから別名・白鷺城(はくろじょう)とも呼ばれ、日本で初の世界文化遺産に指定された国宝でもある。休日とあって、多くの観光客が城内にあふれた。お城の美しさは当時のままだったが、それを取り巻く周辺の環境整備、とりわけ道路や駐車場、土産物店の整備には驚かされた。鹿児島市内にもいくつかの名所・観光スポットが存在するが、同じ城下町としての観光客の受け入れ態勢は決して万全とは言えない。もう一度訪れてみたい。と思わせるような魅力的な観光地づくりに期待したい。

残暑お見舞い申し上げます。

このたび、弊社とコベルコ建機株式会社との共同設計により『SK135SRLCD 2つ折れ超ロング仕様』を製作致しました。

住宅地や市街地での2～4階建ての解体工事において、0.7m³BHでは大きすぎる、0.45m³BHでは高さが足りないという現場でのニーズに応じて、同機を国内第一号機として導入致しました。また、ビル解体の階上作業においてもニブラ装着時の機体総重量16tにも関わらず、最大作業高さ13.4mが可能となりました。

弊社では1.3tクラスから35tクラスまで多量の解体機を取り揃えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

環境にやさしく、すべてにやさしく。

カイト&サンパイヤサイクル
株式会社 朝日産業

本社 〒899-1625 鹿児島県阿久根市波留2474-14
TEL. 0996-73-0388 FAX. 0996-73-0371
鹿児島支店 〒899-2703 鹿児島市上谷口町4556-19
TEL. FAX. 099-278-0758
E-mail: asahisangyou@po5.synapse.ne.jp



KOBELCO
さすがコベルコ

共同設計導入
国内第1号機
SK135SRLCD
2つ折れ超ロング仕様

- ・最大作業高さ13.4m
- ・2～4階建てを地上から解体
- ・後方超小旋回フォルム

お問い合わせは コベルコ建機九州株式会社

URL: http://www.kobelco-kenki.co.jp
鹿児島市南栄3-6-1 ☎099-269-8875